

8月25日

**ラジオ体操の普及推進に寄与
泉自治会に優良団体表彰**

ラジオ体操の普及推進に寄与した泉自治会（近江屋茂会長）に対し、かんば生命（飯田恭久 帯広支店長）は8月25日、ラジオ体操優良団体等表彰を授与しました。

同表彰は昭和31年より実施しているもので、ラジオ体操を行う自治体が減少している中、泉自治会では約60年前から健康管理の一環として毎朝ラジオ体操に励んでいることを評価し、この度の授与となりました。同自治会の成澤保夫副会長は「地域住民の協力のおかげ。これからも精進したい。」と話していました。

（写真左から）近江屋茂会長と成澤副会長

8月22日・29日・9月5日

**北海道でのラスト運行
豪華列車「ザ・ロイヤルエクスプレス」**

東急㈱（堀江正博取締役社長）とJR北海道（綿貫泰之代表取締役社長）が運行する、道東などを3泊4日で周遊する豪華観光列車「ザ・ロイヤルエクスプレス～北海道クルーズトレイン～」が、8月22日・29日・9月5日の計3回、川湯温泉駅に入線しました。

令和3年より続いてきた北海道クルーズトレインですが、現行車両による運行は今年が最後。その姿を見納めようと、駅には多くの町民や鉄道ファンが集いました。

8月28日

**お祭り気分を楽しんで
川湯保育園児を対象に子ども縁日開催**

神社祭の出店数減少によりお祭りらしい経験ができていない子どもたちのため、子ども縁日（同実行委員会主催）が8月28日、川湯福祉の家で開催されました。

会場では、バルーンアスレチックや輪投げ、ヨーヨー釣り、お菓子まきなどの催しが行われ、元気に遊ぶ子どもたちの姿が見られました。

藤本春奈実行委員長は「実行委員4人だけでは成り立たなかった。協賛いただいた事業所を含め、皆さんのご協力に感謝している。」と話していました。

屋外で元気に遊ぶ子どもたち

8月27日・28日

**活動火山対策を考える
「火山防災の日」学習会を開催**

8月26日の「火山防災の日」に合わせ道は、27日・28日に令和8年度「火山防災の日」学習会を町内で開催しました。

27日はガイド同行のもと、アトサヌプリ（硫黄山）を登山し巡検。28日は町公民館で、山梨大学の南沢修特任教授と長野県玉滝村役場の稗田実総務課長補佐が、平成26年に発生した御嶽山（長野県・岐阜県）噴火に関する講話を行いました。2日間で延べ65人が学習会に参加し、火山防災についての理解と関心を深めました。

火山防災を学ぶ参加者たち

9月5日

**北大生×弟高生
道東プロジェクト「わくわく体験らば」開催**

北海道大学の学生が運営する「未来開拓倶楽部」（武田一徳部長）と弟子屈高校の生徒が活動する「てしかがもりあげ隊」（川崎夏輝隊長）が連携し、地域に飛び込み一緒に作る体験型フェス、道東プロジェクト「わくわく体験らば」を9月5日に道の駅摩周温泉で開催しました。

来場者に弟子屈の新しい魅力や可能性を見つけてもらうため、学生や生徒たちが考えた地元野菜を使ったスコーンの販売や、釧路川の生き物に触れる体験企画などを行いました。

3種のスコーンを販売する生徒たち

8月29日・30日

**被災地への支援を呼び掛け
熊本地震災害義援金募集活動を実施**

町赤十字奉仕団（高砂弥生委員長）は8月29日・30日の2日にわたり、本年7月28日に発生した熊本地震の災害義援金募集活動を道の駅摩周温泉で実施しました。

29日は11人、30日は8人の団員が募集活動に参加し、同道の駅入り口付近に設置したブースで、町民や観光客に対し支援の協力を呼び掛けました。

今回集められた義援金は後日、日本赤十字社弟子屈町分区分（徳永哲雄分区分長）に全額引き継がれます。

義援金募集活動の様子

7月29日

**町未来子ども協議会主催事業
みんなと浜中町の湿原で川遊び**

町未来子ども協議会（奥村利之会長）が7月29日、浜中町の霧多布湿原を満喫する「川遊びだよー！全員集合 湿原の小さな川で楽しもう!! わくわくドキドキ探検隊イン浜中」を実施しました。

ツアーには小学生16人、中学生ボランティア3人が参加。湿原内の小川でウグイを釣ったり、エビなどの生き物を見つけたりして川遊びを楽しみました。昼食には浜中名物のホッキカレーやアイスクリームなどを食べ、大満足の1日となりました。

網を使って川の生き物探し

**カメラスケッチ
広報マンが行く!!**

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913（直通）

8月17日

**支障木の撤去に感謝
今井林業㈱に感謝状贈呈**

7月9日と17日の2日間、社会貢献活動を実施した今井林業㈱（西村良雄代表取締役）に対し町は、感謝状の贈呈式を8月17日、町役場で行いました。

同社は、自治会館などの敷地内にある、樹齢の経過により倒木の危険が生じていた支障木の伐採を行い、安全性確保や景観整備に貢献されました。徳永町長は「地域のために活動していただき大変感謝している。」と、お礼の言葉とともに感謝状を手渡しました。

感謝状を手にする西村代表取締役（左）

8月10日

**上空から見る地元の景色
てしかがふるさとSKYクルーズを実施**

ふるさと教育の一環として北海道航空㈱（岩崎信義代表取締役）が8月10日、ヘリコプターで遊覧飛行を楽しむ「てしかがふるさとSKYクルーズ」を実施しました。

上空から本町の美しい自然を実感してもらうことを目的に毎年行われているもので、町内の中学生13人が参加。渡辺体験牧場から離陸した機体は屈斜路湖周辺を周遊し、参加した生徒たちからは「きれいな景色でとても感動した」などの声が聞こえました。

参加した皆さんで記念撮影

8月20日

**施設の皆さんに演舞を披露
鑑別獅子舞、仁多獅子舞が老人ホームを慰問**

鑑別獅子舞（中澤高行代表）と仁多獅子舞（狩野秀喜代表）による、老人ホーム倅和園（丹羽好文園長）と特別養護老人ホーム摩周（高石和恵施設長）への合同慰問が8月20日、同施設で行われました。

本慰問は毎年、8月の弟子屈神社大祭に合わせで実施されています。

間近で見る迫力満点の演舞に、両施設の入所者・利用者の方々と職員からは大きな拍手と歓声が湧き、約150人の観衆が見守る中で大いに盛り上がりしました。

見事な演舞に拍手を送る皆さん

8月18日・19日・22日

**釧路川がつなぐ人・地域・未来
くしろ川かわまちジャンボリーを開催**

釧路川を通じて地域活性化を目指す「くしろ川かわまちジャンボリー in 弟子屈THE川床」(一社) くしろまちづくり研究所主催が8月18日・19日・22日の日程で、釧路川ふれあい広場で開催されました。

会場では、川床スイカ割大会やおさかなタッチプール、笹舟流しのワークショップなどの他、「まちなか探索CHATS WALK」や橋を清掃する「釧路川ピカピカ大作戦in栄橋」など、釧路川にまつわるさまざまな企画が日替わりで行われました。

釧路川ピカピカ大作戦in栄橋